



図書館サポーターズだより

明日に吹く風



本格的な夏が到来し、厳しい暑さが続いていますね。暑い夏だからこそ、冷房の効いた涼しい図書館で本を読みませんか？今月も、図書館サポーターズおススメの本を紹介します！

～図書館サポーター推薦図書～

『むらさきのスカートの女』

今村 夏子 著 (913.6 || 144)

いつもむらさきのスカートを履いている「むらさきのスカートの女」は近所でも有名でちょっと風変わりな女性。そんな女と友達になりたい「わたし」は女のことが気になって気になって仕方がなく、家も調べ、彼女の生活スタイルも調べ、さらに同じ職場で働かせようと誘導します。やっとの思いで同じ職場でホテルの清掃員として働かせることが出来ると、まさかのトラブルが発生…!? 登場人物の動作や風貌が妙にリアルで、この本を読み終わるころには、語り手である「わたし」は、一体誰なのか、むらさきの女をどうしたかったのか、掴みどころが分からず余韻が残るに違いありません。著者の今村夏子さんでしか書けない独特の世界観をお楽しみください。



(M・H)

『すごすぎる天気の本』

：空のふしぎがすべてわかる！』

荒木 健太郎 著 (451 || A64)



皆さんは「彩雲」を知っていますか？私はこの雲と出会ったことで、雲や天気・気象に興味を持ち始めました。誰でもできるような観測方法を知り、「彩雲」を初めて見つけ撮影できた時の感動は忘れられません。空を見ることは生活の一部になり、雲なしでは生きていけないくらいです。今では、空や雲の心を感じて楽しみながら天気の変化を予想する「感天望気」ができるようになりました。

本書では、かわいいキャラクターたちが、雲・空・気象・天気について分かりやすく解説してくれます。また、写真や図が多く初めて学ぶ方にも読みやすい作りになっています。

ぜひ一度、この本を片手に空を見上げてみてください。そして、「雲友」が増えたら嬉しいです。

(S・H)

『細川ガラシャ夫人』

三浦 綾子 著 (913.6 || Mi67)



細川は結婚してからの苗字、ガラシャは洗礼名。この女性の名前をご存じでしょうか？本名を明智玉。明智光秀の娘で細川忠興に嫁いだ女性です。私がこの女性の名前を初めて知ったのは、小学生の時に読んだ漫画の人物伝記でした。戦乱の世で、女性が自分の信じた道を進むことが難しい時代に、信仰心のもと歩み続けた美しい生き様に強く惹かれたのを覚えています。父・光秀の反乱により逆賊の娘のレッテルを貼られ、幽閉生活を過ごした後、細川の家に帰ってきましたが、関ヶ原の合戦により、人質になることを避け、38歳で死の道を選びます。激動の時代を美しく生き抜いた1人の女性ガラシャを少しでも多くの人に知ってもらえたら嬉しいです。



(H・T)